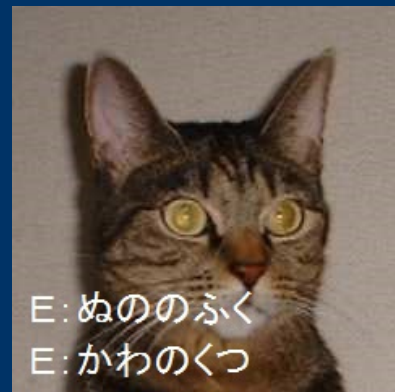


PGCon2014

(2014-12-05)

JSONB データ型を 使ってみよう

ぬこ@横浜 (@nuko_yokohama)



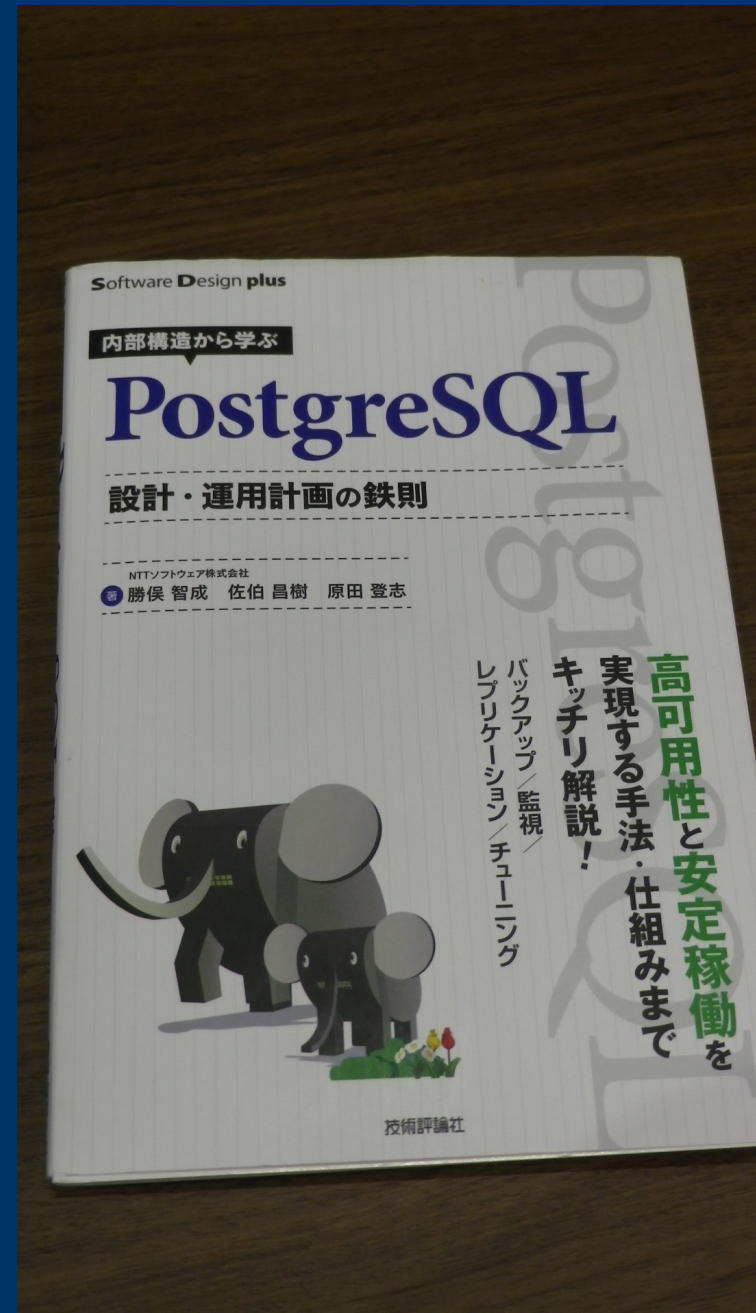
E:ぬののふく
E:かわのくつ

自己紹介



```
SELECT ' {
  "名前": "ぬこ@横浜",
  "Twitter": "@nuko_yokohama",
  "所属": { "会社": "某通信系ソフトウェア会社",
    "部署": "クラウドな感じ",
    "勤務地": "ミナトミライ・スゴイトオイビル" },
  "仕事": "PostgreSQL あれこれ",
  "趣味": ["猫", "ラーメン", "スパ", "バイク旅", "PostgreSQL"],
  "メモ": ["PostgreSQL は 7.4 の頃からの腐れ縁",
    "ときどき PostgreSQL イベントで喋ってます", "ただのユーザ"],
  "作ったもの": ["漢数字型 (ksj)", "類似文字型 (ntext)",
    "new4j_fdw", "hit_and_blow BGW", "pg_heartman" ] }' :: jsonb;
```

最近、 PostgreSQL の本を書きました。
よろしくおねがいします⇒



まずは・・・

祝・ PostgreSQL 9.4.0
Release! (のはず)

ImageChef.com

今日は、その
postgresql 9.4 の
新機能の一つ、
JSONB 型について
話そうと思います。

目次

JSON/JSONB 型概説

JSONB 型の実装 / 性能

アプリケーションから使う

JSONB の想定適用例

JSON/JSONB 型

概説



JSON とは

JavaScript Object Notation

XML よりも軽量

構造化されたデータを

文字列で表現可能

PostgreSQL における JSON への取り組み

9.2

- JSON 型の導入。
- 2 つの JSON 型構築関数。
- JSON 内の値を使った条件検索はできなかった。

9.3

- JSON 型関数・演算子の大幅な強化。
- JSON データ型へのパスによるアクセス。
- JSON 内の値を使った条件検索が可能に。

9.4

- JSONB 型の導入。
- 検索の高速化
- 独自演算子の追加
- GIN インデックス対応

9.2 から順調に進化。 9.5 でも…？

JSON 型でできること

JSON 文字列のパーズ

キーによる値の取り出し

パスによる値の取り出し

PostgreSQL 配列や行との変換

etc . . .

JSON 文字列のパーズ

PostgreSQL へのデータ格納時に格納される JSON が正しい書式かチェックする。

正しくない書式でない場合 PostgreSQL がエラーにする。

JSON 文字列のパーズ例

正しい JSON 文字列

```
jsonb=# SELECT ' {"key1":"value1", "key2":[100, 20, 5]} ' :: json;  
          json
```

```
-----  
{ "key1": "value1", "key2": [100, 20, 5] }  
(1 row)
```

誤った JSON 文字列

```
jsonb=# SELECT ' {"key1":"value1", "key2":[100, 20, ]} ' :: json;  
ERROR:  invalid input syntax for type json  
LINE 1: SELECT ' {"key1":"value1", "key2":[100, 20, ]} ' :: json;  
              ^
```

```
DETAIL:  Expected JSON value, but found "]"  
CONTEXT:  JSON data, line 1: {"key1":"value1", "key2":[100, 20, ]...
```

※ パースは JSON/JSONB 型に変換されるときに行われる。

キーによる値の取り出し

JSON 型に対してキーを指定して対応する値を取得する。

"->", "->>" 演算子など

キーによる値の取り出し

JSON 型全体を取得

```
jsonb=# ¥pset null (null)Null display (null) is "(null)".  
jsonb=# SELECT data FROM test ORDER BY id LIMIT 3;
```

data

```
-----  
-----  
-----  
{"Id": 0, "Email": "Laverna@junius.io", "Country": "Paraguay", "Full  
Name": "Carolyn  
Kohler", "Created At": "1987-08-21T18:42:02.269Z"}  
{"Id": 1, "Country": "France", "Full Name": "Paul Weber DVM", "Created  
At": "19  
89-03-16T14:37:36.825Z"}  
{"Id": 2, "Email": "Elbert@norma.co.uk", "Country": "Uzbekistan", "Full  
Name":  
"Florence Murphy", "Created At": "1980-02-19T04:16:52.113Z"}  
(3 rows)
```

キーによる値の取り出し

キーから JSON オブジェクトを取得

```
jsonb=# SELECT data->'Email' as email , data->'Full Name' as fullname FROM  
test ORDER BY id LIMIT 3;
```

email	fullname
"Laverna@junius.io"	"Carolyn Kohler"
(null)	"Paul Weber DVM"
"Elbert@norma.co.uk"	"Florence Murphy"

(3 rows)

キーから文字列を取得

```
jsonb=# SELECT data->>'Email' as email , data->>'Full Name' as fullname  
FROM test ORDER BY id LIMIT 3;
```

email	fullname
Laverna@junius.io	Carolyn Kohler
(null)	Paul Weber DVM
Elbert@norma.co.uk	Florence Murphy

(3 rows)

パスによる値の取り出し

JSON 型に対してパスを指定して対応する値を取得する。

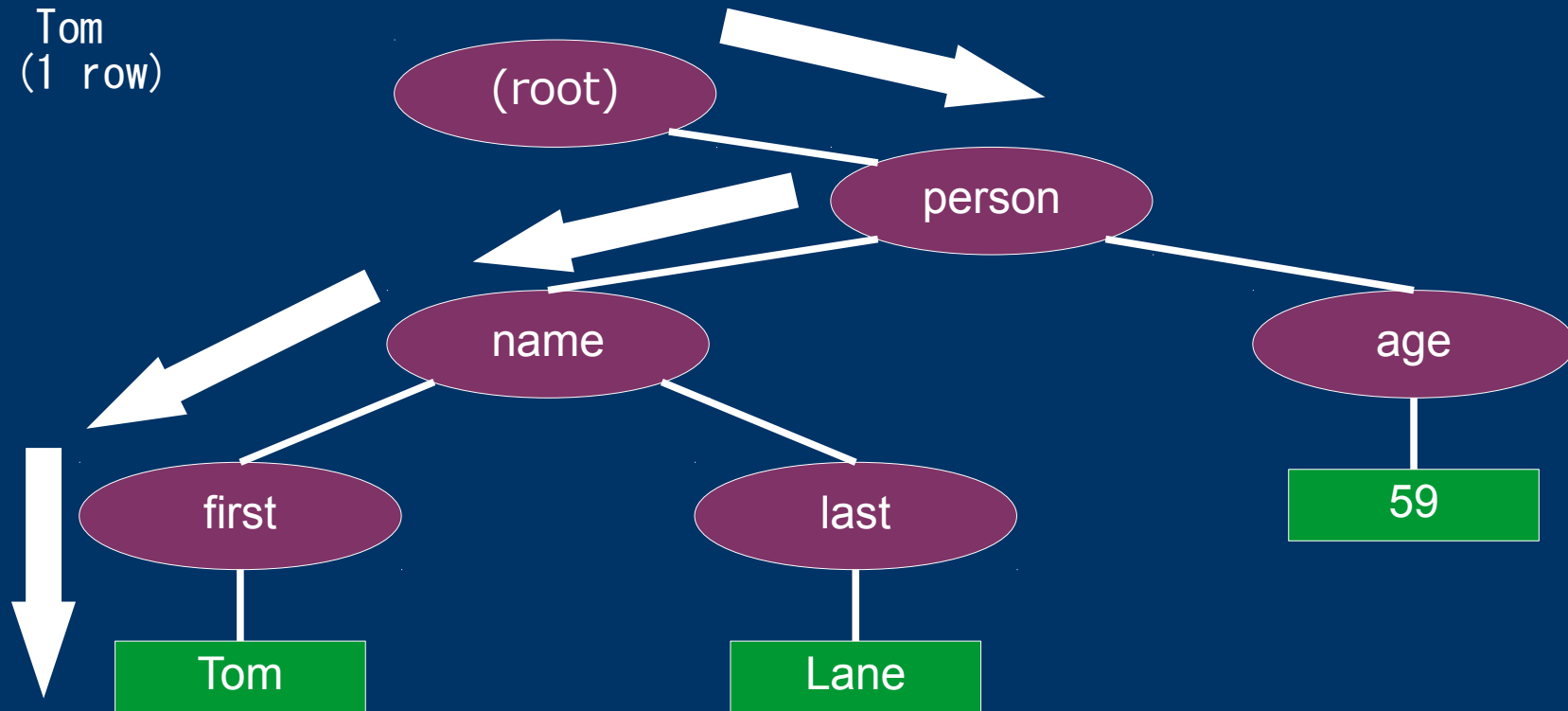
“#>”, “#>>” 演算子

パスによる値の取り出し

person, name, first のパスで取得

```
jsonb=# SELECT ' {"person": {"name":  
{"first": "Tom", "last": "Lane"}, "age": 59}}' ::json #>> ' {person, name,  
first}';  
?column?
```

Tom
(1 row)

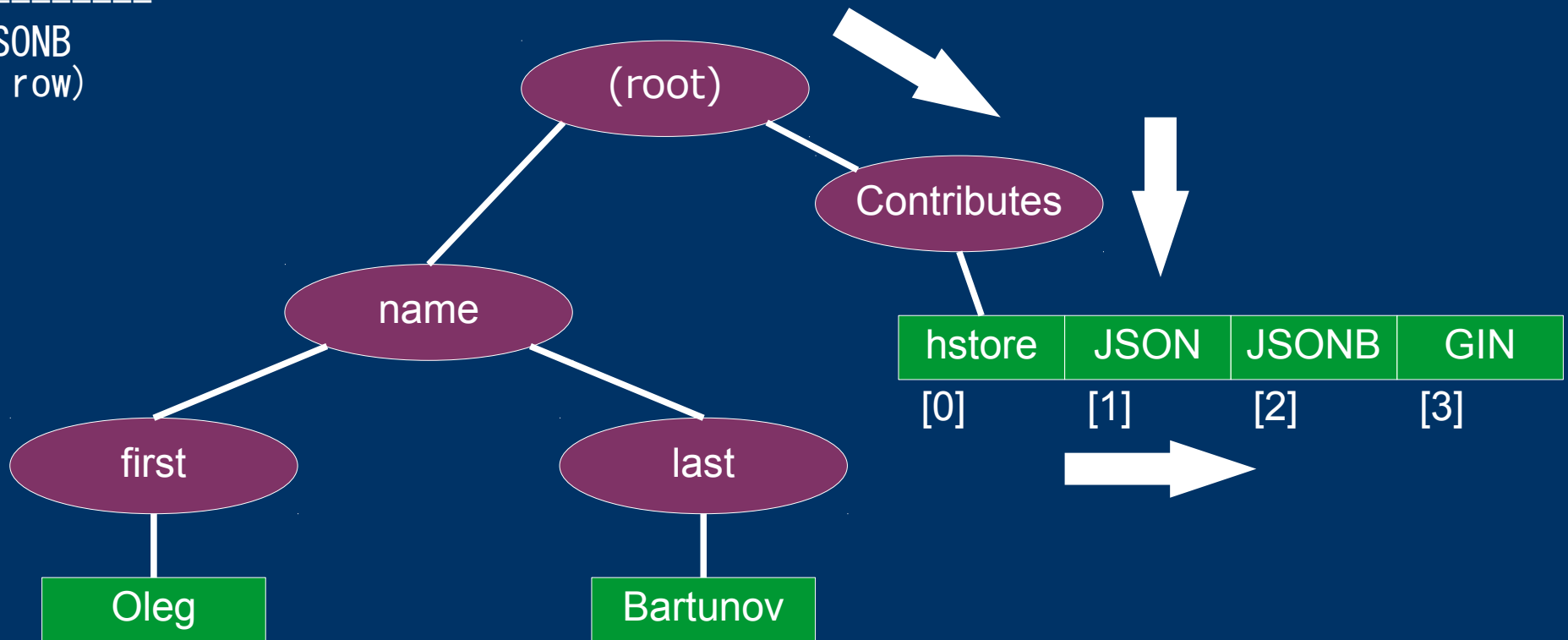


パスによる値の取り出し

Contributes の 2 番目 (0 相対) を取得

```
jsonb=# SELECT ' {"Name":  
{ "First": "Oleg", "Last": "Bartunov", "Country": "Russia", "Contributes":  
["hstore", "JSON", "JSONB", "GIN"]} ' :: json #>> ' {Contributes, 2} '  
?column?
```

JSONB
(1 row)



式インデックスとの組合せ

キーやパスによって取り出した
値は式インデックスとしても
使用可能

⇒JSON 型を条件列として
インデックス検索も可能！

式インデックスとの組合せ

式インデックスの設定

```
jsonb=# SELECT data FROM json_t LIMIT 1;
```

```
data
```

```
-----  
-----  
-----  
{ "Email": "Laverna@junius.io", "Created At": "1987-08-  
21T18:42:02.269Z",  
  "Country": "Paraguay", "Id": 0, "Full Name": "Carolyn Kohler" }  
(1 row)
```

```
jsonb=# CREATE INDEX json_id_idx ON json_t USING btree ((data->>'Id'));  
CREATE INDEX
```

```
jsonb=# \d json_t
```

```
Unlogged table "public.json_t"  
Modifiers  
-----  
Column | Type | not null default nextval('json_t_id_seq'::regclass)  
-----  
id      | integer |  
data    | json    |
```

```
Indexes:
```

```
  "json_id_idx" btree ((data ->> 'Id'::text))
```

式インデックスとの組合せ

式インデックスを利用した検索

```
jsonb=# EXPLAIN ANALYZE SELECT data FROM json_t WHERE data->>'Id' = '1000';  
QUERY PLAN
```

```
-----  
-----  
Bitmap Heap Scan on json_t (cost=4.68..130.11 rows=50 width=32) (actual  
time=0  
.078..0.078 rows=1 loops=1)  
  Recheck Cond: ((data ->> 'Id'::text) = '1000'::text)  
  Heap Blocks: exact=1  
    -> Bitmap Index Scan on json_id_idx (cost=0.00..4.66 rows=50 width=0)  
        (actual time=0.072..0.072 rows=1 loops=1)  
            Index Cond: ((data ->> 'Id'::text) = '1000'::text)  
Planning time: 0.248 ms  
Execution time: 0.106 ms  
(7 rows)
```

その他の JSON 関数

PostgreSQL 配列と JSON 配列との変換

行から JSON への変換

JSON から PostgreSQL 行への展開

キー集合の取得

その他の JSON 関数

PostgreSQL 配列と JSON 配列との変換

行から JSON への変換

JSON から PostgreSQL 行への展開

キー集合の取得

PostgreSQL 配列と JSON 配列との変換

```
jsonb=# SELECT array_to_json(ARRAY[1, 3.14, -1.2e3]);  
array_to_json
```

```
-----  
[1, 3.14, -1200]  
(1 row)
```

PostgreSQL 配列を
JSON 配列に変換

```
jsonb=# TABLE bar;
```

id	n_datas	t_datas
1	{1.32, 9.76, 5.55}	{bdho, fjoal}
2	{6.43, 0.48}	{vbwdaioi, 3dsai, cfjia}
3	{}	{}

(3 rows)

```
jsonb=# SELECT array_to_json(bar.t_datas) FROM bar;  
array_to_json
```

```
-----  
["bdho", "fjoal"]  
["vbwdaioi", "3dsai", "cfjia"]  
[]  
(3 rows)
```

テーブル内の特定の列を
JSON 化した例

行から JSON への変換

```
jsonb=# TABLE foo;
```

id	n_data	t_data
1	8.93	366fd4cf
2	5.23	3f0a243b
3	(null)	(null)

(3 rows)

```
jsonb=# SELECT row_to_json(foo.*) FROM foo;  
           row_to_json
```

```
-----  
{ "id":1, "n_data":8.93, "t_data":"366fd4cf" }  
{ "id":2, "n_data":5.23, "t_data":"3f0a243b" }  
{ "id":3, "n_data":null, "t_data":null }  
(3 rows)
```

テーブル全体を
JSON 化した例

カラム値が null の場合は
JSON の null に変換

JSON から PostgreSQL 行への展開

```
jsonb=# select * from json_each_text('{"id": 2, "age": 59, "name": {"last":  
"Lane", "first": "Tom"}}');  
key | value  
-----  
id | 2  
age | 59  
name | {"last": "Lane", "first": "Tom"}  
(3 rows)
```

- ※ 内側のキー ("first", "last") と値は展開しない。
- ※ key, value という固定の列名として返却される。
- ※ key も value も TEXT 型として返却される。

キー集合の取得

以下のような JSONB を含む全レコードからキーを取得する。

```
jsonb=# TABLE test;
{"id": 1, "name": {"first": "Oleg"}, "distribute": ["GIN", "hstore",
"json", "jsonb"]}
{"id": 2, "age": 59, "name": {"last": "Lane", "first": "Tom"}}
{"id": 3, "name": {"nickname": "nuko"}, "distribute": ["ksj", "neo4jfdw"]}
```

jsonb_object_keys 関数の結果

```
jsonb=# SELECT DISTINCT jsonb_object_keys(data) FROM test;
distribute
age
id
name
```

- ※ 内側のキー ("first", "last") は取得できない点に注意！
- ※ 自分で Outer キーを指定して取得した JSONB に対して `jsonb_object_keys` を発行することは可能。

JSON と JSONB



JSON 型

格納形式は文字列

JSONB 型

格納形式は規定のバイナリ形式

データ型の導入

専用演算子の追加

JSON と JSONB の格納状態例

beta-3 で確認

入力 JSON 文字列

```
{"aaa" : "AAAA", "bbb1" : {"cccc" : "CCCC1"}, "bbb2" : {"cccc" : "CCCC2" } }
```

JSON 型の格納状態

入力文字列そのまま

00001fb0	95	7b	22	61	61	61	22	20	3a	20	22	41	41	41	41	22	. {"aaa" : "AAAA" , "bbb1" : {"ccc c" : "CCCC1"}, "b bb2" : {"cccc" : "CCCC2"} }.....
00001fc0	2c	20	22	62	62	62	31	22	20	3a	20	7b	22	63	63	63	
00001fd0	63	22	3a	20	22	43	43	43	43	31	22	7d	2c	20	22	62	
00001fe0	62	62	32	22	20	3a	7b	22	63	63	63	63	22	20	3a	20	
00001ff0	22	43	43	43	43	32	22	7d	20	7d	00	00	00	00	00	00	

JSONB 型の格納状態

バイナリ化された
データが格納される

00001fa0	b5	03	00	00	20	03	00	00	80	04	00	00	00	04	00	00P...Paaa bbb1bbb2AAAA...ccccCCC C1..... .ccccCCCC2.....
00001fb0	00	04	00	00	00	16	00	00	50	18	00	00	50	61	61	61	
00001fc0	62	62	62	31	62	62	62	32	41	41	41	41	00	01	00	00	
00001fd0	20	04	00	00	80	05	00	00	00	63	63	63	63	43	43	43	
00001fe0	43	31	00	00	00	01	00	00	20	04	00	00	80	05	00	00	
00001ff0	00	63	63	63	63	43	43	43	43	32	00	00	00	00	00	00	

バイナリ形式で
格納すると
何が嬉しいのか？

JSONB は格納効率を
優先はしていない

格納サイズに関しては
むしろ JSON より大きくなる
ケースもある。

(Oleg 氏のレポートでは約 4% 程度増加する
ケースが報告されている)

JSONB の格納性能も
JSON と比較すると遅い。

- ・ 格納容量が大きい
- ・ シリアライズ化処理
(性能検証結果は後述)

JSONB は検索効率を優先

JSON 関数を使ってキーによる
検索を行ったときに
JSON と比較して非常に高速
(性能検証結果は後述)

JSONB データ型

JSON 自体にはデータ型の概念がある。

PostgreSQL の JSONB 型もデータ型に一部対応している。

JSON 型	対応する PostgreSQL 型	備考
文字型	text	エンコーディングの問題は注意。 なお、キーは文字型扱い。
数値型	numeric	浮動小数点型の NaN や Infinity の表記は 許容されない。
時刻型	(未対応)	PostgreSQL では文字列扱い。
真偽値	boolean	小文字の true/false のみ許容。 (on/off とかもダメ)
null	—	小文字 null のみ許容。 SQL NULL とは別概念。

JSONB は入力した
JSON 文字列は保持されない。

JSON は入力文字列を
そのまま保持する。

JSONB 入力結果が保持されない例 (数値型)

```
jsonb=# INSERT INTO jsonb_t VALUES
(1, ' {"key":1, "value":100}' ),
(2, ' {"key":2, "value":100.0}' ),
(3, ' {"key":3, "value":1.00e2}' ),
(4, ' {"key":4, "value":1.000e2}' )
;
```

```
INSERT 0 4
jsonb=# SELECT * FROM jsonb_t ;
```

id	data
1	{"key": 1, "value": 100}
2	{"key": 2, "value": 100.0}
3	{"key": 3, "value": 100}
4	{"key": 4, "value": 100.0}

(4 rows)

小数なしの
numeric として同値

小数点ありの
numeric として同値

指数表記でなくなる

JSON だと単に文字列として
格納されているだけなので、
入力形式そのまま出力される

```
jsonb=# INSERT INTO json_t VALUES
jsonb=# (1, ' {"key":1, "value":100}' ),
jsonb=# (2, ' {"key":2, "value":100.0}' ),
jsonb=# (3, ' {"key":3, "value":1.00e2}' ),
jsonb=# (4, ' {"key":4, "value":1.000e2}' )
jsonb=# ;
INSERT 0 4
```

```
jsonb=# SELECT * FROM json_t;
```

id	data
1	{"key":1, "value":100}
2	{"key":2, "value":100.0}
3	{"key":3, "value":1.00e2}
4	{"key":4, "value":1.000e2}

(4 rows)

JSONB 入力結果が保持されない例 (重複キー、キー名の順序)

同一階層で重複したキーがある場合、後に記述したものののみ有効となる。
また、キー名でソートされている。

```
jsonb=# SELECT
'{"key_z":99, "key_q": 20, "key_q" :25, "key_a" : 3}'::json,
'{"key_z":99, "key_q": 20, "key_q" :25, "key_a" : 3}'::jsonb;
-[ RECORD 1 ]-----
json   | {"key_z":99, "key_q": 20, "key_q" :25, "key_a" : 3}
jsonb  | {"key_a": 3, "key_q": 25, "key_z": 99}
```

配列の場合、順序は保証される。

```
jsonb=# SELECT
'{"key_x":[ 1, 400, 8888, 2, 99, 25, 3]}'::json,
'{"key_x":[ 1, 400, 8888, 2, 99, 25, 3]}'::jsonb ;
-[ RECORD 1 ]-----
json   | {"key_x":[ 1, 400, 8888, 2, 99, 25, 3]}
jsonb  | {"key_x": [1, 400, 8888, 2, 99, 25, 3]}
```

最初の"key_q":20の
組み合わせはなくなる。

JSONB 入力結果が保持されない例 (空白の扱い)

キーまたは値でない JSON 文字列中の空白は、JSONB では無視される。

また、JSONB の検索結果として出力される JSON 文字列ではキーと値のセパレータである ":" の後に 1 つ空白文字を入れるという規則で文字列を生成している。

```
jsonb=# SELECT
'{"key_z" : 99, "key q": 20, "key_a" : "aa aa"}' :: json,
'{"key_z" : 99, "key q": 20, "key_a" : "aa aa"}' :: jsonb;
-[ RECORD 1 ]-----
json  | {"key_z" : 99, "key q": 20, "key_a" : "aa aa"}
jsonb | {"key q": 20, "key_a": "aa aa", "key_z": 99}
```


JSONB 専用演算子

演算子	意味
<@	左辺の JSON が右辺のキー & 値の組を含むかを評価する。
@>	右辺の JSON が左辺のキー & 値の組を含むかを評価する。
?	左辺の JSON が右辺の（一つの）キーまたは要素を含むかどうかを評価する。
?	左辺の JSON が右辺のキーまたは要素を 1 つでも含むかどうかを評価する。（ANY 評価）
&?	左辺の JSON が右辺のキーまたは要素を全て含むかどうかを評価する。（ALL 評価）

特に $\langle @$ 演算子は
GIN インデックスと
組み合わせると
非常に強力

GIN インデックス

汎用転置インデックス

配列型での利用

全文検索等でも利用

※ これも JSONB と同じ開発チームで開発している。

<http://www.sai.msu.su/~megera/wiki/Gin>

<@ と GIN インデックス

JSONB カラム自体に GIN インデックスを設定

```
jsonb=# SELECT data FROM jsonb_t LIMIT 1;
```

data

```
-----  
--  
-----  
{"Id": 0, "Email": "Laverna@junius.io", "Country": "Paraguay", "Full Name":  
"Carolynne Kohler", "Created At": "1987-08-21T18:42:02.269Z"}  
(1 row)
```

```
jsonb=# CREATE INDEX jsonb_idx ON jsonb_t USING gin (data jsonb_ops);
```

```
CREATE INDEX
```

```
jsonb=# \d jsonb_t
```

Unlogged table "public.jsonb_t"
Modifiers

Column	Type	Modifiers
id	integer	not null default nextval('jsonb_t_id_seq'::regclass)
data	jsonb	

Indexes:

```
"jsonb_idx" gin (data)
```

JSONB 型用の
GIN インデックス
メソッドの指定が必要

<@ と GIN インデックス

この状態で @> 演算子（右辺にはキーと値の組み合わせ）を使うと GIN インデックスによる効率的な検索が可能になる

JSONB カラムに <@ 演算子で条件を記述

```
jsonb=# EXPLAIN SELECT data->'Full Name' as fullname, data->'Country' as  
country FROM jsonb_t WHERE data @> '{"Country": "Monaco"}';  
QUERY PLAN
```

```
Bitmap Heap Scan on jsonb_t (cost=20.08..54.18 rows=10 width=160)  
  Recheck Cond: (data @> '{"Country": "Monaco"}'::jsonb)  
    -> Bitmap Index Scan on jsonb_idx (cost=0.00..20.07 rows=10 width=0)  
          Index Cond: (data @> '{"Country": "Monaco"}'::jsonb)  
Planning time: 0.074 ms  
(5 rows)
```

<@ と GIN インデックス

JSONB カラムに <@ 演算子で条件を記述 (検索結果)

```
jsonb=# SELECT data->'Full Name' as fullname, data->'Country' as country FROM  
jsonb_t WHERE data @> '{"Country": "Monaco"}';
```

fullname	country
"Romaine Hickie"	"Monaco"
"Mr. Joana Huel"	"Monaco"
"Jeff Wilkinson"	"Monaco"

(以下略)

"Country" が "Monaco" の行だけ選択されている。

今までの JSON 型でも
"->" / "->>" 演算子と
関数インデックスの組み合わせで
Btree インデックスによる
インデックス検索は出来たが
@> + GIN の組み合わせは
キーが不定でも有効！

しかも、PostgreSQL 9.4 では GIN インデックスのサイズ縮小 / 性能改善も行われているのでさらに効果的！

(参考：GIN インデックスの改善も JSONB 型と同じメンバが実施している)

JSONB 型の実装



JSON 型と JSONB 型の処理

JSON 型と JSONB 型の

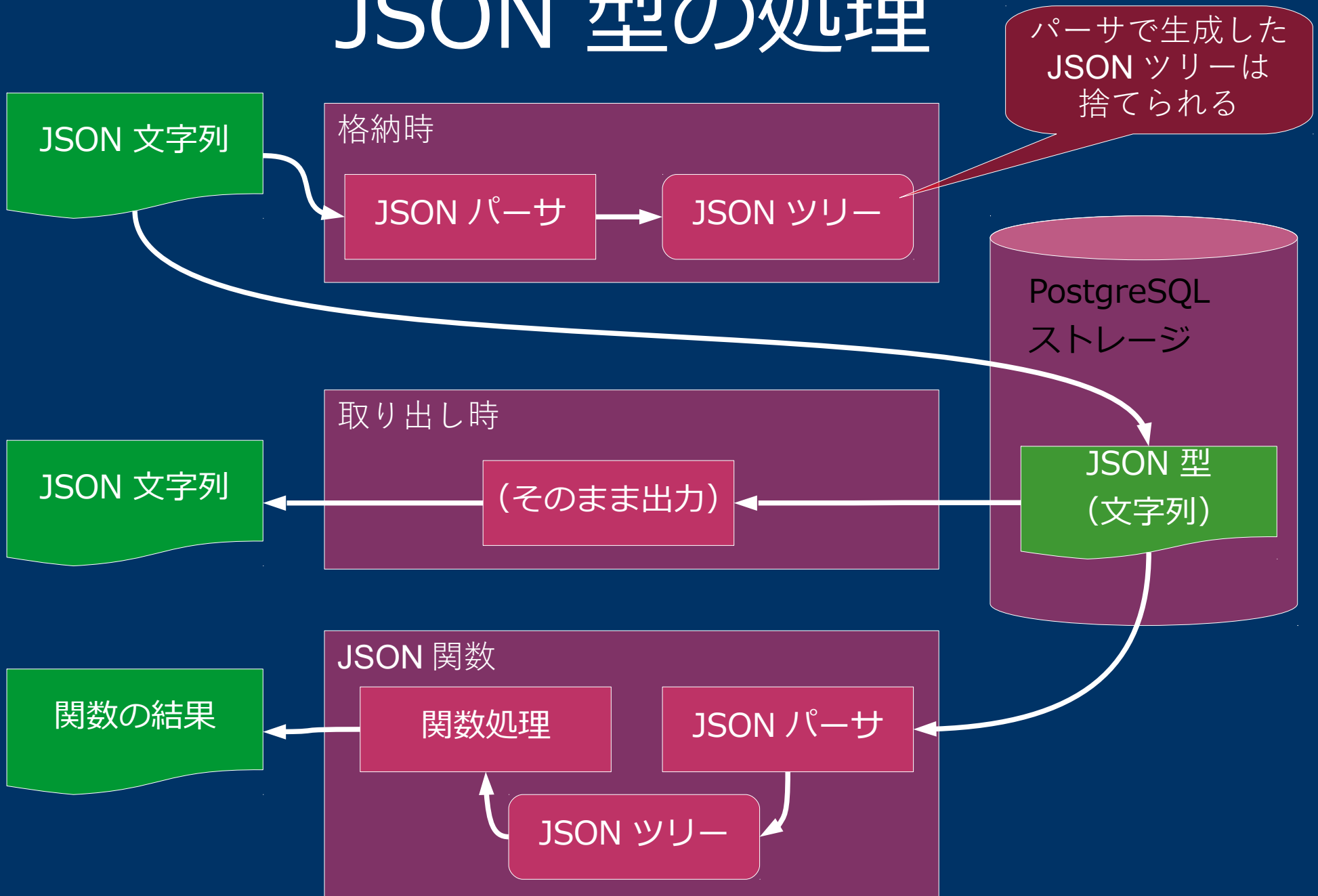
データ格納

データ取得

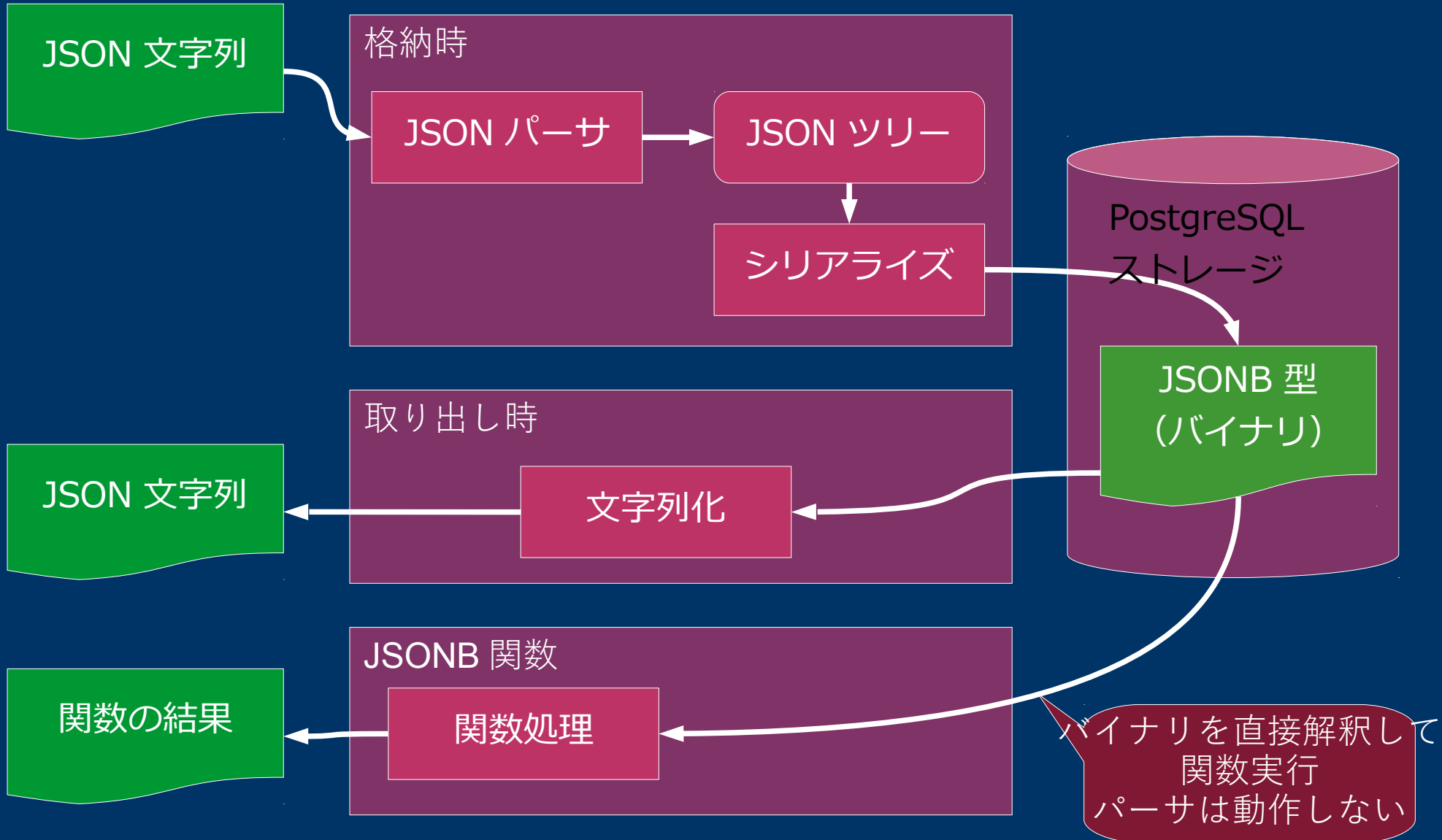
JSON 関数処理

の処理イメージを次ページ以降に示す。

JSON 型の処理



JSONB 型の処理



JSON ツリー

pstate

parseState=0	res
--------------	-----

```
{"aa": "AAA", "bb": "BBB", "cc": "CCC"}
```

res

type=jbvObject	val.object.nPairs=3
----------------	---------------------

上記の JSON 文字列をパースすると
以下のようなツリー構造が生成される
※ PostgreSQL 9.4-beta2 の場合

pair[0]

pair[1]

pair[2]

key type=jbvString	val type=jbvString	key type=jbvString	val type=jbvString	key type=jbvString	...
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----

len=2	val
-------	-----

len=3	val
-------	-----

len=2	val
-------	-----

aa

AAA

bb

格納サイズ

さっき説明した JSON と JSONB の
処理内容から格納サイズを予想すると
以下のようなになる。

格納サイズは JSON のほうが小さい？
(JSONB はツリー構造情報も保持)

以下のような JSON データ

```
{ "Email": "Laverna@junius.io", "Created At": "1987-08-21T18:42:02.269Z", "Country": "Paraguay", "Id": "0", "Full Name": "Carolyn Kohler" }
```

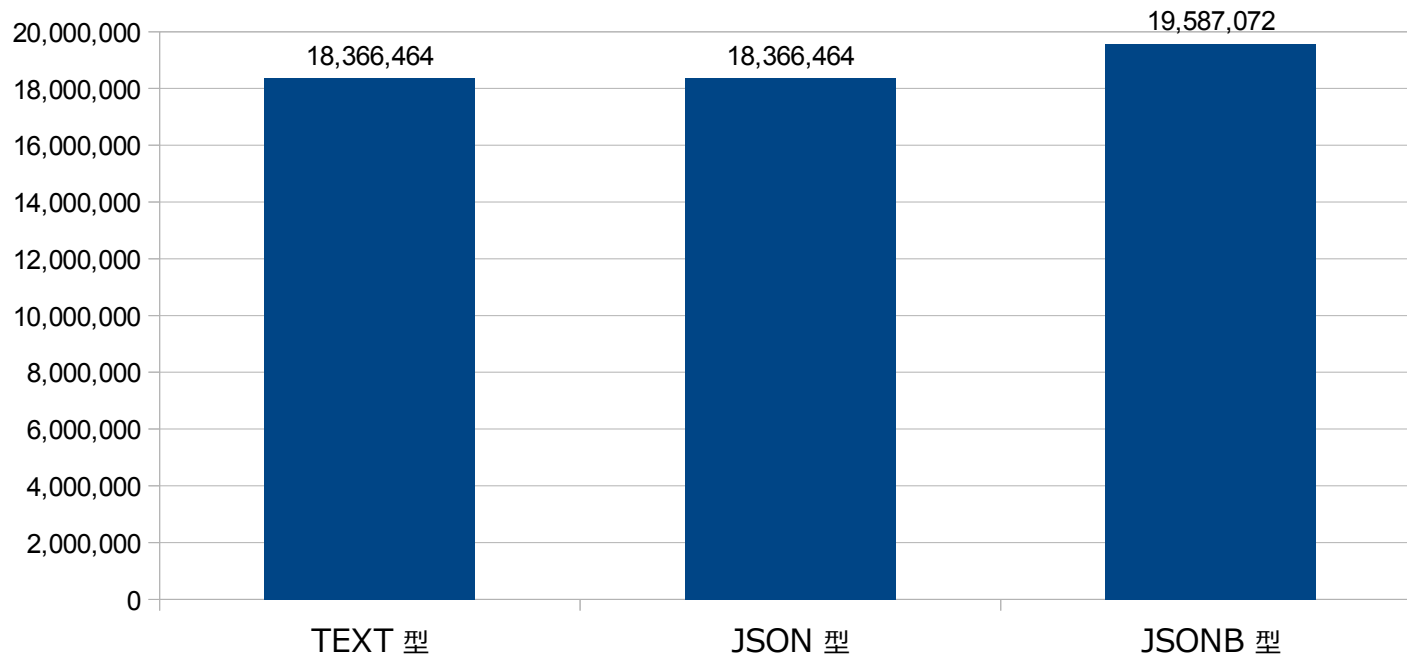
測定内容

TEXT/JSON/JSONB カラムのみをもつテーブルを作成
上記 1 万件を 10 回 COPY した後の
テーブルサイズを pg_relation_size() で測定

格納サイズ

RC1 で確認

10 万件ロード時のテーブルサイズ



TEXT 型と JSON 型のサイズは同じ

JSONB は JSON 型と比較すると 7 %増加

インデックスサイズ

JSON 型のキーに対する

btree 関数インデックス

Vs

JSONB の GIN インデックス

さっきの JSON 型データの 5 種のキーに対する btree インデックスの総サイズと JSONB 型の GIN インデックスサイズを比較してみる。

インデックスサイズ

各キーから値を取得する btree インデックス群を設定

```
CREATE INDEX jsonb_id_idx ON jsonb_t  
  USING btree ((data->>'Id'));
```

```
CREATE INDEX jsonb_fullname_idx ON jsonb_t  
  USING btree ((data->>'Full Name'));
```

```
CREATE INDEX jsonb_email_idx ON jsonb_t  
  USING btree ((data->>'Email'));
```

```
CREATE INDEX jsonb_created_idx ON jsonb_t  
  USING btree ((data->>'Created At'));
```

```
CREATE INDEX jsonb_country_idx ON jsonb_t  
  USING btree ((data->>'Country'));
```

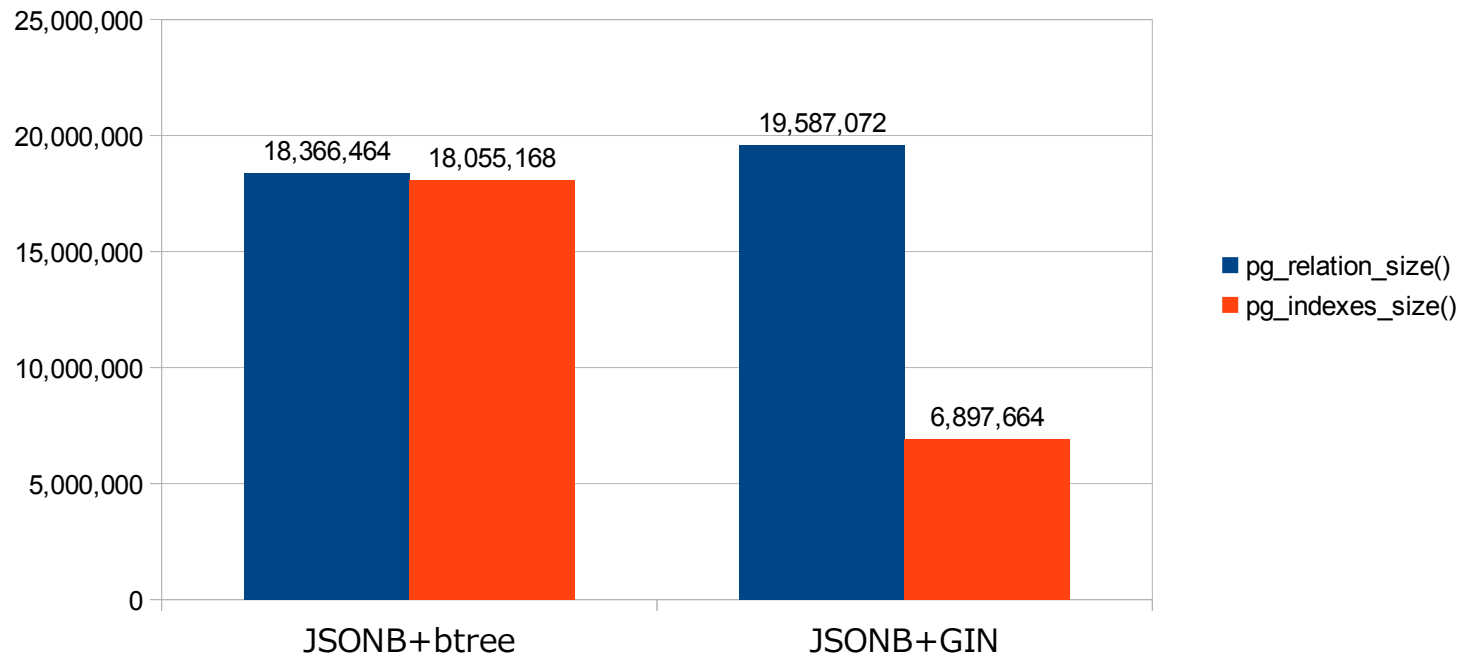
JSONB 列自体に GIN インデックスを設定

```
CREATE INDEX jsonb_data_idx ON jsonb_t USING gin (data jsonb_ops);
```

インデックスサイズ

RC1 で確認

btree 式インデックスサイズと GIN インデックスサイズ



全てのキーに btree インデックスを設定するより GIN インデックスのほうがインデックスサイズは大幅に小さくなる。

性能比較

さっき説明した JSON と JSONB の
処理内容から処理性能を予想すると
以下のようなになる。

格納処理は JSON のほうが高速
単なる SELECT は JSON のほうが高速？
JSON 関数を使った場合は JSONB が高速

測定環境

PC: Let's note SX2(SSD)

OS: CentOS 6.3(メモリ 4GB)

PostgreSQL パラメータ

shared_buffers=128MB

checkpoint_segments=30

以下のような JSON データ

```
{ "Email": "Laverna@junius.io", "Created At": "1987-08-21T18:42:02.269Z", "Country": "Paraguay", "Id": 0, "Full Name": "Carolyn Kohler" }
```

測定内容

JSON/JSONB カラムをもつテーブルを UNLOGGED で作成

上記 1 万件を 10 回 COPY したときの平均性能

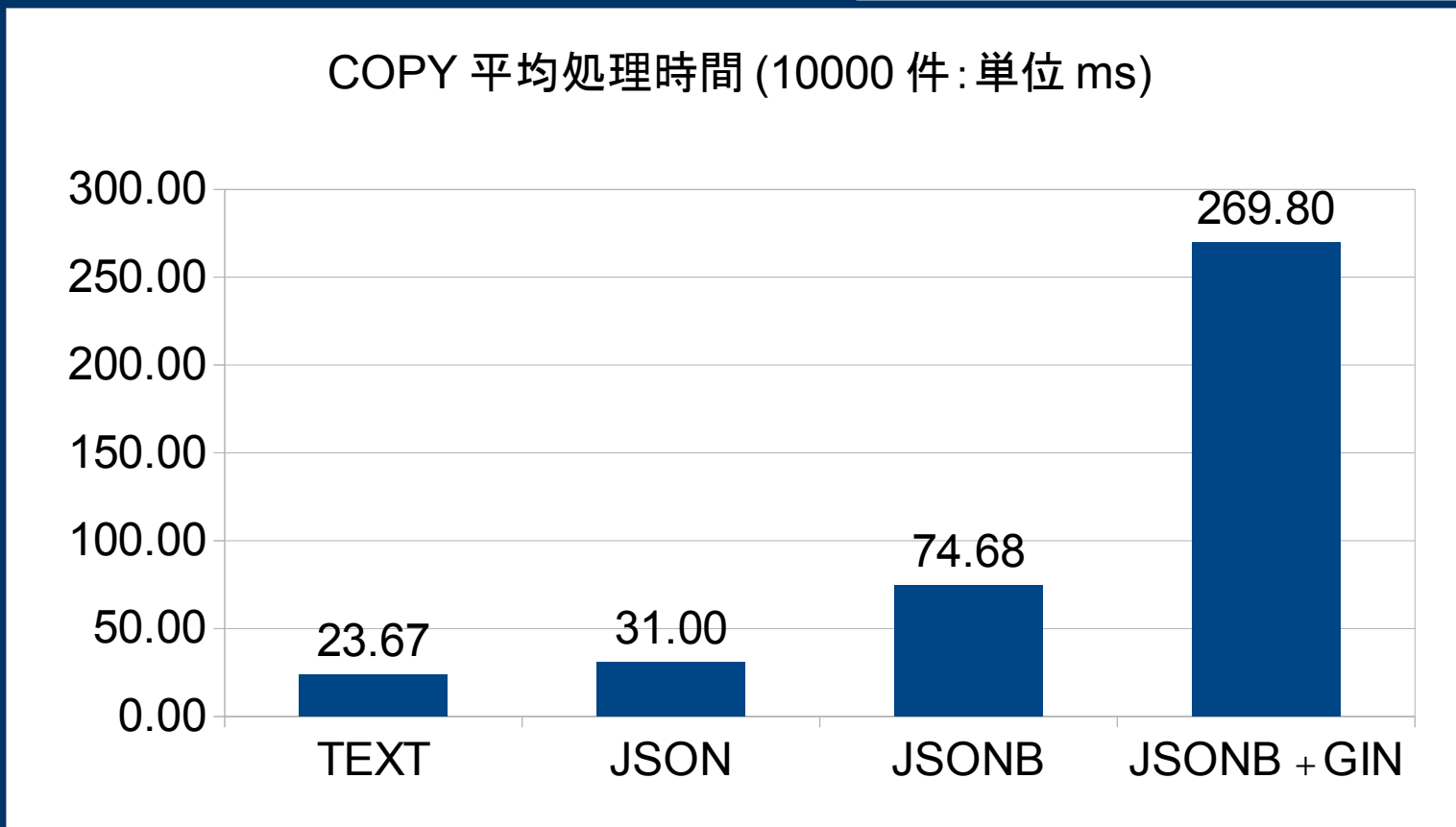
SELECT(10 万件) の平均性能

SELECT(10 万件) + JSON 演算子を使ったときの平均性能

btree vs GIN インデックス検索性能

COPY 処理時間

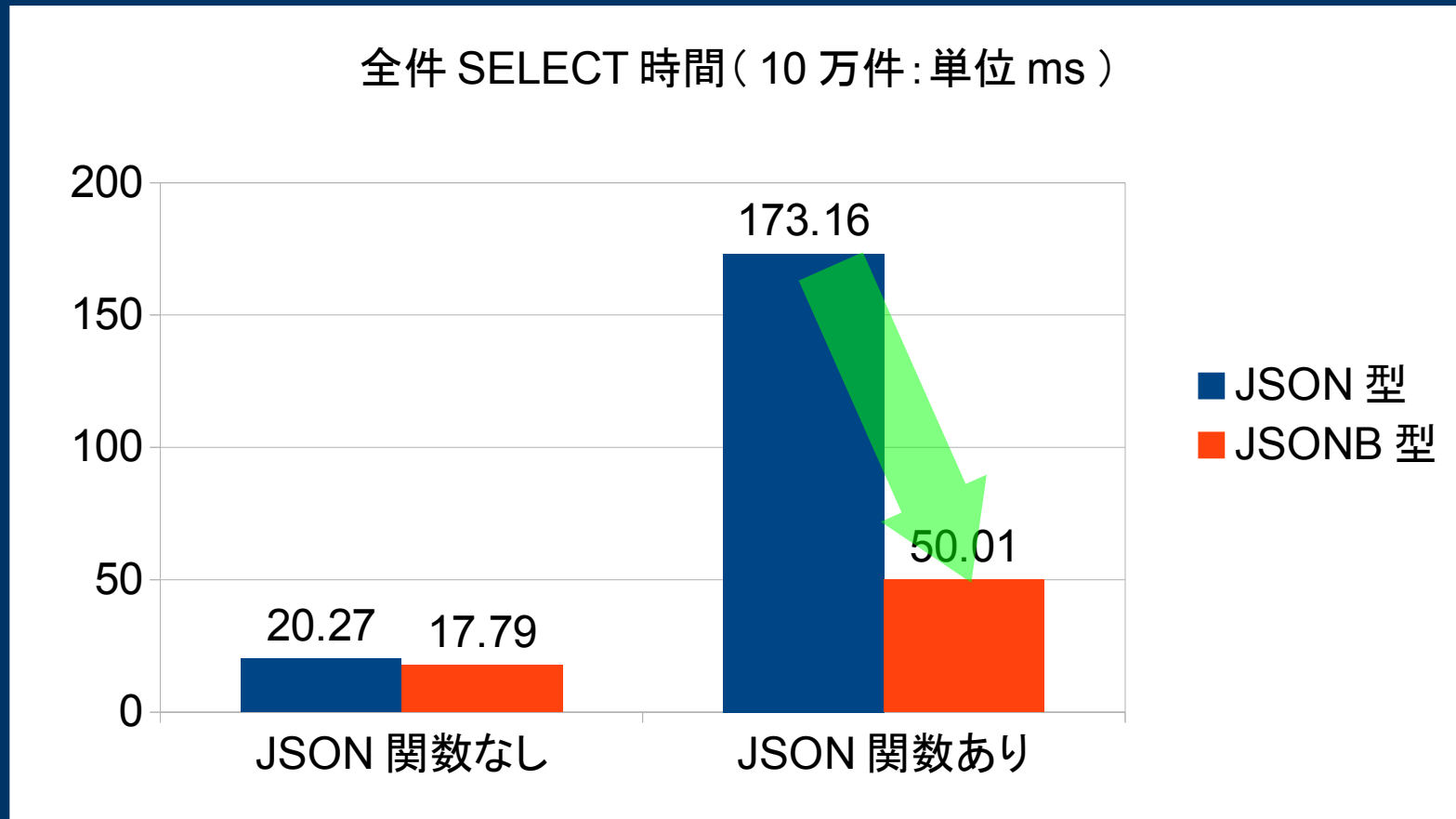
RC1 で測定



TEXT と JSON の差分が 10000 件分の JSON パース時間？
JSON と JSONB の差分が 10000 件文のシリアライズ時間？
GIN インデックスありの場合はかなり遅くなる。

SELECT 処理時間

RC1 で確認



単なる SELECT はほとんど差はない？

JSON 関数を使用した場合の性能差は明確。

btree vs GIN

btree 式インデックス使用時

```
EXPLAIN ANALYZE SELECT * FROM jsonb_t WHERE data->>'Country' = 'Monaco';
Bitmap Heap Scan on jsonb_t (cost=12.29..1240.26 rows=500 width=161) (actual
time=0.180..0.692 rows=310 loops=1)
  Recheck Cond: ((data ->> 'Country' ::text) = 'Monaco' ::text)
  Heap Blocks: exact=280
-> Bitmap Index Scan on jsonb_country_idx (cost=0.00..12.17 rows=500 width=0)
(actual time=0.112..0.112 rows=310 loops=1)
  Index Cond: ((data ->> 'Country' ::text) = 'Monaco' ::text)
Planning time: 0.607 ms
Execution time: 0.767 ms
(7 rows)
```

GIN インデックス使用時

```
EXPLAIN ANALYZE SELECT * FROM jsonb_t WHERE data @> '{"Country": "Monaco"}';
Bitmap Heap Scan on jsonb_t (cost=28.77..362.50 rows=100 width=161) (actual
time=1.709..2.502 rows=310 loops=1)
  Recheck Cond: (data @> '{"Country": "Monaco"}' ::jsonb)
  Heap Blocks: exact=280
-> Bitmap Index Scan on jsonb_data_idx (cost=0.00..28.75 rows=100 width=0) (actual
time=1.630..1.630 rows=310 loops=1)
  Index Cond: (data @> '{"Country": "Monaco"}' ::jsonb)
Planning time: 0.086 ms
Execution time: 2.566 ms
(7 rows)
```

GIN より btree 式インデックスのほうが若干速い

測定結果まとめ

格納：JSON が高速

SELECT：ほぼ同じ？

JSON 関数：JSONB が高速

GIN より btree 式インデックスが高速

結局、JSON と JSONB は
どう使い分けるのか？

格納効率優先なら JSON

検索効率優先なら JSONB

入力形式を保持するなら JSON

⇒ だいたいの場合、JSONB で OK?

【余談】 jquery

PostgreSQL 9.4 には取り込まれてませんが、JSONB 型に対して更に強力なクエリやインデックスを提供する jquery という外部プロジェクトもあります。

<https://github.com/akorotkov/jquery>

PostgreSQL 9.5 に入るかも？

JSONB を
アプリケーションから
使ってみる



ここまでは
SQLレベルでの
JSON/JSONBの
使い方を説明しました

しかし、実際には
何らかの
アプリケーションから
使うことになるはず

C 言語 : libpq

Java : JDBC

その他の LL/FW...

今回は基本となる

libpq と JDBC を説明します

libpq 経由で
JSON を使う。

といっても

libpq で組む場合、
JSONB だからといって
何か特殊な API を使うわ
けではない。

JSON/JSONB データの
挿入 / 更新 / 削除は
普通に PQexec や
PQexecParams を使う

JSON/JSONB データは
文字列として渡す。
(SQL べた書きでも
パラメータ渡しでも)

パラメータ渡しで INSERT する例

```
char* values[3] = {
    {"id":1, "name": {"first": "Oleg"}, "distribute":
    [{"GIN"}, {"hstore"}, {"json"}, {"jsonb}]"},
    {"id":2, "age": 59, "name": {"last": "Lane", "first": "Tom"}},
    {"id":3, "name": {"nickname": "nuko"}, "distribute":
    [{"ksj"}, {"neo4jfdw}]}
};
```

```
int
insert_table(PGconn* conn) {

    int i = 0;
    PGresult* res;
    res = PQexec(conn, "BEGIN");

    for (i=0; i < 3; i++) {
        res = PQexecParams(conn,
            "INSERT INTO test VALUES($1)",
            1,
            NULL,
            (const char* const*) &values[i],
            NULL,
            NULL,
            0);

        if (PQresultStatus(res) != PGRES_COMMAND_OK) {
            fprintf(stderr, "Truncate error, %s\n", PQerrorMessage(conn));
            exit(-1);
        }
    }
}
(省略)
```

検索結果の受け取りで
注意すること。



TEXT 型であれ
JSON 型であれ、
JSONB 型であれ、
libpq 経由で取り出した
値は文字列になる。

JSONB 型自体には
数値データ型があるが
libpq 経由で取り出した
値は文字列になる。
数値評価時には型変換要

検索結果の処理コードの例

```
printf("sql=%s¥n", sql);  
res = PQexec(conn, sql);
```

(略)

```
for (i=0; i < tuples; i++) {  
    for (j=0; j < fields; j++) {  
        // nullかどうか判断する  
        if (PQgetisnull(res, i, j) == 1) {  
            // null  
            printf("data(%d, %d) is null¥n", i, j);  
        } else {  
            // not null  
            // 結果の長さを取得  
            printf("length(%d, %d) = %d¥n", i, j, (int) PQgetlength(res, i, j));  
            // 結果の取得  
            printf("data(%d, %d) = %s¥n", i, j, PQgetvalue(res, i, j));  
        }  
    }  
}
```

実行例

```
sql=SELECT data #>> ' {name,first}' as name, data->>' age' FROM test
ntuples = 3
fields = 2
name = name
type oid = 25
internal size= -1
name = ?column?
type oid = 25
internal size= -1
length(0, 0) = 4
data(0, 0) = 0leg
data(0, 1) is null
length(1, 0) = 3
data(1, 0) = Tom
length(1, 1) = 2
data(1, 1) = 59
data(2, 0) is null
data(2, 1) is null
```



59 という数値は、59 という数値
文字列として取得される。

なお、libpq には結果の型を
取得する PQftype 関数がある。
取得結果は型の oid 。

oid の値	対応するデータ型
25	TEXT
114	JSON
3802	JSONB

結果の型が TEXT なのか JSON/JSONB なのかで
処理を変えたい場合に使えるかも。

キーが存在しない場合は
NULL となるが、
getValue() では
空文字列が返却される。
NULL と区別できない。

キーが確実に存在している
ことが不明の場合、
Pggetisnull() 関数で
NULL かどうか要確認

検索結果の処理コードの例

```
printf("sql=%s\n", sql);  
res = PQexec(conn, sql);
```

(略)

```
for (i=0; i < tuples; i++) {  
    for (j=0; j < fields; j++) {  
        // nullかどうか判断  
        if (PQgetisnull(res, i, j) == 1) {  
            // null  
            printf("data(%d, %d) is null\n", i, j);  
        } else {  
            // not null  
            // 結果の長さを取得  
            printf("length(%d, %d) = %d\n", i, j, (int) PQgetlength(res, i, j));  
            // 結果の取得  
            printf("data(%d, %d) = %s\n", i, j, PQgetvalue(res, i, j));  
        }  
    }  
}
```

実行例

```
sql=SELECT data #>> ' {name,first}' as name, data->>' age' FROM test
ntuples = 3
fields = 2
name = name
type oid = 25
internal size= -1
name = ?column?
type oid = 25
internal size= -1
length(0, 0) = 4
data(0, 0) = 0leg
data(0, 1) is null
length(1, 0) = 3
data(1, 0) = Tom
length(1, 1) = 2
data(1, 1) = 59
data(2, 0) is null
data(2, 1) is null
```



キーにヒットしないものは null
になる。

私見では C で処理する場
合には、なるべく SQL
で処理して、結果は文字
で扱うほうが良い？

C 言語にも JSON プロセッサはあるが . . .

JDBC 経由で
JSON を使う。

といっても

JDBC 経由で JSONB に
アクセスする場合も、
基本的には普通の型と
変わらない。

キーが確実に存在している
ことが不明の場合、
wasNull() メソッドで
NULL かどうか要確認

値の取得は `getString()`
メソッドを使う。

`getJSON()` のような
メソッドは追加されていない。

単純な検索の例

```
Statement stmt = conn.createStatement();  
ResultSet rs = stmt.executeQuery(query);
```

(略)

```
while (rs.next()) {  
    for (int i=1; i <= cols; i++) {  
        String s = rs.getString(i);  
        if (rs.wasNull()) {  
            System.out.print("(null)" + ",");  
        } else {  
            System.out.print(s + ",");  
        }  
    }  
    System.out.println("");  
}
```

注意が必要なのは
パラメータとして
JSON/JSONB を渡す時

JSON 文字列を setString で渡すと…

```
Connection conn =  
DriverManager.getConnection(url, "postgres", "postgres");  
  
PreparedStatement ps =  
conn.prepareStatement("INSERT INTO jsonb_t VALUES (?)");  
// JSON文字列を設定  
ps.setString(1, json);  
  
// 検索実行  
int i = ps.executeUpdate();
```

```
Exception in thread "main" org.postgresql.util.PSQLException: ERROR:  
column "data" is of type jsonb but expression is of type character varying  
ヒント: You will need to rewrite or cast the expression.
```

※setString() で JSON 文字列をセットすと、
executeUpdate() 背景でエラーになる・・・

JSON 文字列をどうやって渡す？（正道）

```
Connection conn =  
DriverManager.getConnection(url, "postgres", "postgres");  
  
PreparedStatement ps =  
conn.prepareStatement("INSERT INTO jsonb_t VALUES (?)");  
// JSON文字列を設定  
org.postgresql.util.PGObject pgo =  
    new org.postgresql.util.PGObject();  
pgo.setValue(json);  
pgo.setType("jsonb");  
ps setObject(1, pgo);  
  
// 検索実行  
int i = ps.executeUpdate();
```

※PotgreSQL JDBC Driver の PGObject を作成し、そこに
setValue() で JSON テキストを、
また setType() で "jsonb" を指定する必要がある。

JSON 文字列をどうやって渡す？（邪道）

```
Connection conn =  
DriverManager.getConnection(url, "postgres", "postgres");  
  
PreparedStatement ps =  
conn.prepareStatement("INSERT INTO jsonb_t VALUES (?)");  
// JSON文字列を設定  
ps.setObject(1, json, 1111); // 1111 : JSONB型を示す数値  
  
// 検索実行  
int i = ps.executeUpdate();
```

※setString()ではなく、 setObject() に JSON 文字列と、
JSON/JSONB 型を示す型値を第 3 パラメータに設定する。

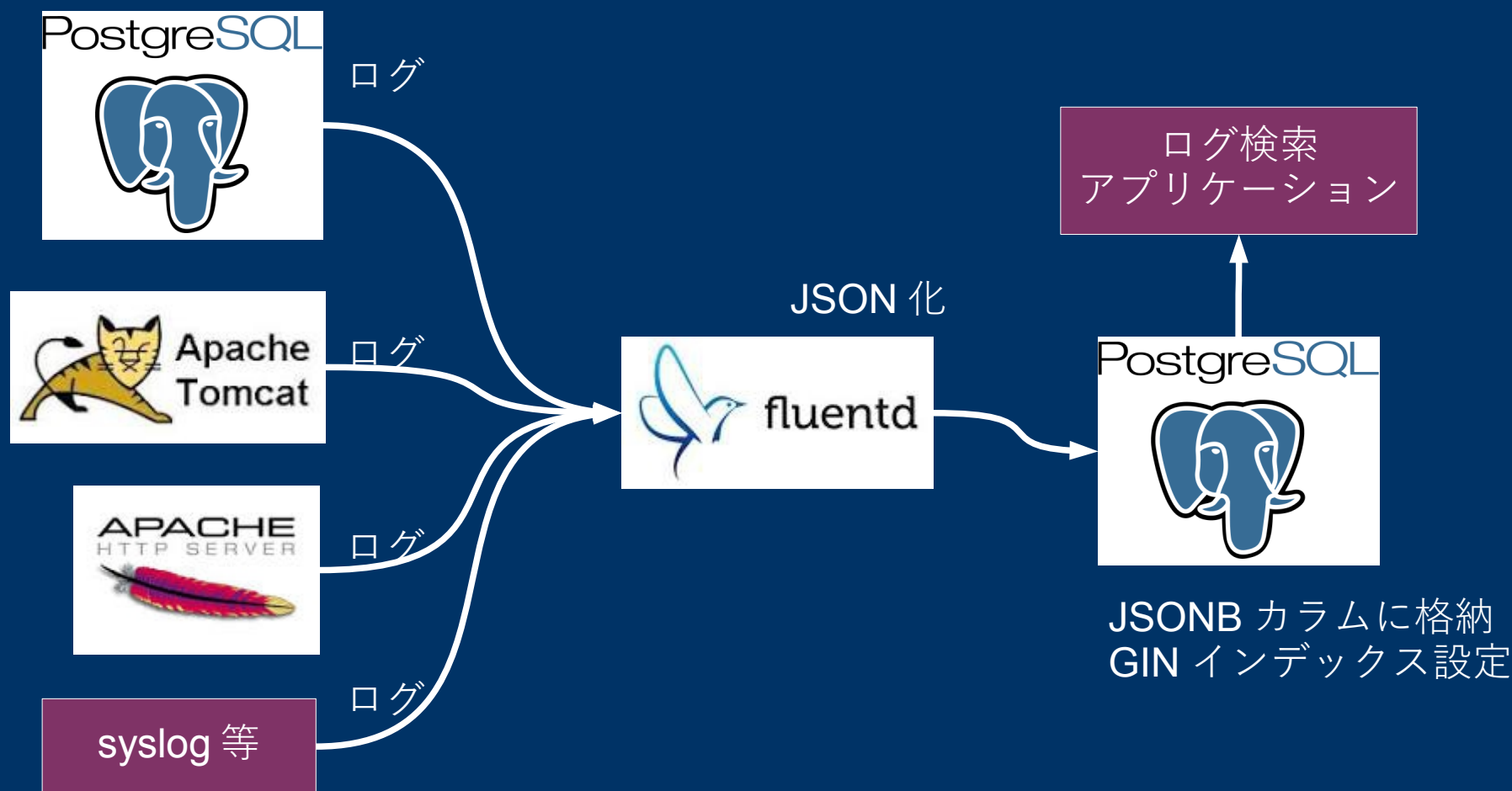
※1111 という数値は検索結果のメタデータから
getColumnType() で取得したもの。
将来的にこの値のままかどうかは不明・・・。

本当は RoR 等の
Or マツパをもつ
フレームワークで
どうやって JSON/JSONB を
使うのか書きたかったが
今回は時間切れ . . .
すいません . . .

JSON 型の 想定用途



様々なログの収集 (fluentd との組み合わせ等)



様々な食べ物のレビューサイト



{ "タイプ": "ラーメン",
"麺": "中細麺",
"スープ": "醤油",
"具": ["チャーシュー", "葱"],
"スコア": 85 }



{ "タイプ": "ざる",
"具": ["鴨", "葱"],
"スコア": 75 }



{ "タイプ": "焼き",
"皮": "厚め",
"餡": ["肉", "大葉"],
"スコア": 70 }



{ "タイプ": "欧風カレー",
"主食": "ご飯",
"具": ["鴨", "葱"],
"スコア": 75 }

レビュー検索
アプリケーション



JSONB カラムに格納
GIN インデックス設定

微妙なテーブル設計の救済？

```
CREATE TABLE foo {  
  id integer primary key,  
  name text,  
  . . .  
  memo1 text,  
  memo2 text,  
  memo3 text,  
  . . .  
  memo100 text  
}
```

可変の個数
設定されるような
カラム群

```
CREATE TABLE foo {  
  id integer primary key,  
  name text,  
  . . .  
  memo jsonb  
}
```

JSONB 型に
まとめてしまう

※ きちんと設計をしていれば不要だろうけど . . .

MongoDB 等の NoSQL ドキュメント DB の代替？



or



どの程度の量の JSON データ
を扱うか次第かも？

例えば数十 GB 程度、
スケールアウトしなくてもいい程度なら
PostgreSQL の JSONB は
十分代替候補になりそう？

既存の PostgreSQL 環境に
新たに JSONB 型を
追加することで
SQL レベルで統一して
扱えるのは強みになるかも？

PostgreSQL と NoSQL

適用領域次第では

PostgreSQL JSON でも OK

	得意	不得意
PostgreSQL	トランザクション SQL との連携 (結合など)	スケールアウト 並列処理 集計処理
NoSQL (MongoDB 等)	スケールアウト 並列処理 集計処理	トランザクション 結合

【参考】

類似データ型比較

PostgreSQL には JSONB 以外にも半構造化データを管理するデータ型がある。

⇒ XML 型 , hstore 型

XML 型

XML を格納するデータ型
属性、階層、順序、名前空間対応
本体機能 (configure で指定)
格納時に XML パースを行なう
型自体に比較演算機能はない
xpath によるアクセスが可能
libxml2 ライブラリに依存

XML 型の使用例

XML 型カラムを持つテーブル

```
other=# ¥d xml_t
```

```
Table "public.xml_t"
```

Column	Type	Modifiers
id	integer	not null default nextval('xml_t_id_seq'::regclass)
data	xml	

```
other=# SELECT data FROM xml_t;
```

```
<rdb_t><email>Laverna@junius.io</email><created_at>1987-08-21T18:42:02.269Z</created_at><country>Paraguay</country><id>0</id><full_name>Carolyn Kohler</full_name></rdb_t>  
<rdb_t><email>Nakia_Rolfson@cecelia.ca</email><created_at>1989-03-16T14:37:36.825Z</created_at><country>France</country><id>1</id><full_name>Paul Weber DVM</full_name></rdb_t>  
<rdb_t><email>Elbert@norma.co.uk</email><created_at>1980-02-19T04:16:52.113Z</created_at><country>Uzbekistan</country><id>2</id><full_name>Florence Murphy</full_name></rdb_t>  
(3 rows)
```

XML 型の使用例

xpath 関数による XML 文書からの抽出

```
other=# SELECT
(xpath('/rdb_t/email/text()', data)::text[])[1] as email,
(xpath('/rdb_t/full_name/text()', data)::text[])[1] as fullname
FROM xml_t;
```

email	fullname
Laverna@junius.io	Carolyn Kohler
Nakia_Rolfson@cecelia.ca	Paul Weber DVM
Elbert@norma.co.uk	Florence Murphy

(3 rows)

XML や xpath 関数は強力だけど、書くのは少々面倒 . . .

(例) xpath 関数は XML 配列を返却するので、テキストを取り出す場合に、TEXT 配列にキャストして最初の要素を取り出すなどの操作が必要。

(例) 名前空間 url と prefix の組を配列化して xpath 関数に渡す必要がある。

hstore

Key-Value store データ型

Contrib モジュール

ネストはできない。

部分更新インタフェースあり

PostgreSQL 8.3 ~対応

※ 作者は JSONB と同じ Oleg 氏

hstore の使用例

hstore 型カラムを持つテーブル

```
other=# ¥dx
```

List of installed extensions			
Name	Version	Schema	Description
hstore	1.3	public	data type for storing sets of (key, value) pairs
plpgsql	1.0	pg_catalog	PL/pgSQL procedural language

(2 rows)

```
other=# ¥d hstore_t
```

Table "public.hstore_t"		
Column	Type	Modifiers
id	integer	not null default nextval('hstore_t_id_seq'::regclass)
data	hstore	

hstore の使用例

hstore 型カラムの検索

```
other=# SELECT data FROM hstore_t;
```

data

```
-----  
-----  
-----  
"id"=>"0", "email"=>"Laverna@junius.io", "country"=>"Paraguay",  
"full_name"=>"Carolyn Kohler", "  
created_at"=>"1987-08-21T18:42:02.269Z"  
"id"=>"1", "email"=>"Nakia_Rolfson@cecelia.ca", "country"=>"France",  
"full_name"=>"Paul Weber DVM  
", "created_at"=>"1989-03-16T14:37:36.825Z"  
"id"=>"2", "email"=>"Elbert@norma.co.uk", "country"=>"Uzbekistan",  
"full_name"=>"Florence Murphy"  
, "created_at"=>"1980-02-19T04:16:52.113Z"  
(3 rows)
```

hstore の使用例

hstore 型カラムから特定のキーのみ抽出

```
other=# SELECT data->'email' as email, data->'full_name' as full_name FROM
hstore_t;
```

email	full_name
Laverna@junius.io	Carolyn Kohler
Nakia_Rolfson@cecelia.ca	Paul Weber DVM
Elbert@norma.co.uk	Florence Murphy

(3 rows)

条件式を使う例

```
other=# SELECT data->'id' as id, data->'email' as email FROM hstore_t WHERE
data->'id' = '1';
```

id	email
1	Nakia_Rolfson@cecelia.ca

(1 row)

XML 型 /xpath 関数を使うよりシンプルに書ける

hstore に関する情報

hstore については、JPUG の「第 20 回
しくみ + アプリケーション勉強会 (2011
年 6 月 4 日)」でも解説しているので、
そちらも参考にしてください。

http://www.postgresql.jp/wg/shikumi/sikumi_20/

[http://www.postgresql.jp/wg/shikumi/study20_materials/
hstore_introduction/view](http://www.postgresql.jp/wg/shikumi/study20_materials/hstore_introduction/view)

XML, hstore, JSON 比較

データ型	表現能力	格納領域	処理性能
XML	◎	△	△
hstore	△	○	◎
JSON	○	○	○
JSONB	○	○	◎

XML は表現能力は高いが扱いにくい

hstore はシンプルだが速い

JSONB は良いところ取り？

⇒ 用途で使い分け可能

FAQ



Q. JSONB って日本語扱える？

A. キーにも値にも日本語は使えます。
ただし、サーバエンコーディングが
UTF-8 環境で使うのが無難そう。

日本語キーのパスを使って日本語を取得する例

```
jsonb=# SELECT ' {"種別": "ラーメン", "値段": 650, "スープ": "豚骨醤油", "トッピング": ["チャーシュー", "ほうれん草", "海苔", "葱"] } ' :: jsonb #> ' {トッピング, 2} ' ;
```

```
?column?
```

```
-----  
"海苔"  
(1 row)
```

Q. JSONB ってトランザクションに対応しているの？

A. してます。JSONB も PostgreSQL 上では他のデータ型と一緒に扱いです。

Q. PostgreSQL の
クライアントライブラリでは JSONB を
オブジェクトとして扱えるの？

A. すいません、きちんと調べてません。
少なくとも libpq としては特別な扱いは
してないみたいです。

Q. フレームワーク環境で使える？

A. JSON/JSONB 演算子は特殊なので
フレームワークで自動生成された
SQL はそのまま使えないかも。

※ フレームワークとの相性が
JSON/JSONB 型普及の妨げ？

Q. 結局、どういうときに
JSONB 型を使えばいいの？

A. 開発時にスキーマが決定できない情報
を管理する場合。

(XML や hstore も検討してみる)

あるいは、外部データとして JSON を
使っていて、それを PostgreSQL で管理
したい場合とか・・・？

Q. JSON データ管理なら
MongoDB とかじゃダメなの？

A. それも一つの選択肢です。
スケールアウト重視なら MongoDB 。
スタートアップ開発にも向いている。

トランザクションなど堅牢性の重視や
SQL アクセスしたいなら PostgreSQL 。

参考情報

- “PostgreSQL 9.4beta2 Documentation”
<http://www.postgresql.org/docs/9.4/static/index.html>
- “Schema-less PostgreSQL”
http://www.sraoss.co.jp/event_seminar/2014/20140911_pg94_schemas.pdf
- SRA OSS. “PostgreSQL 9.4 評価検証報告”
http://www.sraoss.co.jp/event_seminar/2014/20140911_pg94report.pdf
- 第 20 回しくみ+アプリケーション勉強会
“PostgreSQL の KVS hstore の紹介”
http://www.postgresql.jp/wg/shikumi/study20_materials/hstore_introduction/view
- EDB 社ブログ “ Open Enterprise: The PostgreSQL Open Source Database Blog from EnterpriseDB”
<http://blogs.enterprisedb.com/2014/09/24/postgres-outperforms-mongodb-and-ushers-in-new-developer-reality/>
- “7 つのデータベース 7 つの世界”
ISBN 978-274-06907-6

ご清聴

ありがとうございます

ございました
